

教科	国語	単元名	説明のまとまりをみつけよう
----	----	-----	---------------

本時のねらい

友だちが作成した「自分が興味のある生き物」についてのデジタルガイドブックを視聴し、その工夫や良さ等を具体的に相手に伝えることができる。ルーブリックの評価表をもとに、友だちのデジタルガイドブックを適切に評価することができる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

iPad のネイティブアプリケーションである「Pages」を活用することで、文章だけでなく生き物の画像やその生き物について解説している音声等を挿入したレポートを作成することができる。そのレポートをデジタルガイドブックに変換することで、従来の紙によるガイドブックよりも視覚的にわかりやすいガイドブックを作成することをねらった。

デジタルガイドブックを作成することで、文字だけでなく、効果的に伝える写真や動画、解説文の読み方なども一層意識させることをねらった。また、様々な表現方法を自分で創り出す楽しみや相手からフィードバックをもらえる喜びを感じさせることをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・プロジェクタ ・イヤホン ・文章作成アプリ (Pages) ・Apple Books ・授業支援ソフト (ロイロノート)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを児童と共有し、学習の見通しを持つ。 ○本時のめあてを確認する。 「友だちが作成した「自分が興味のある生き物」についてのデジタルガイドブックを視聴し、その工夫や良さ等を具体的に相手に伝えることができる。」 ○前時の学習を想起し、作成したガイドブックのレイアウトが適切か再確認する。 ○デジタルガイドブックへの変換方法を知り、変換する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビを活用し、前時の振り返りを行う。また、デジタルガイドブックへの変換方法を確認する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ルーブリック評価表の内容を確認する。 ○2人ペアから4人班の順で、友だちのデジタルガイドブックを読む。 ○ルーブリック評価表を基に、友だちのデジタルガイドブックの評価をワークシートに記入する。 ○デジタルガイドブックやワークシートをもとに、その工夫や良さ等を具体的に相手に伝える。 ○クラス内を自由に立ち歩き、興味のあるデジタルガイドブックを視聴する。 ○ロイロノートを活用して、全体で感想・評価を共有する。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのデジタルガイドブックを読む際は、iPad を交換し、イヤホンを使用して読むよう伝える。 ・工夫や良さ等を伝えるときは、相手が理解しやすいよう具体的に伝えるように指導する。 ・ロイロノートの回答共有機能を活用することで、互いの考えを瞬時に共有することができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてについて、学んだことや気づいたことをワークシートに記入し、クラス全体で発表する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの発表は、感想・評価を大型テレビに映しながら、口頭で行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: ペアで友だちのデジタルガイドブックを読んでいる場面



写真2: 興味のあるデジタルガイドブックを視聴し、その工夫や良さなどを話し合っている場面



写真3: 文章作成アプリ (Pages) で作成したデジタルガイドブックの成果物

児童生徒の反応や変容

・「自分が興味を持った生き物」の解説を、音声・文章・画像等を一体的にできるデジタルガイドブックという形に集約することで、「伝える相手」や「伝え方」をより意識して学習に取り組む姿勢が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

子どもたちに相手意識を常に意識させることで、相手により伝わりやすくするための工夫 (レイアウトや音声等) が一層明確になった。また、表現の選択肢を増やすためには、様々なアプリケーションを自由に活用させることが大切である。